

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
県営高岡武道館 スポーツ振興課

2 施設所在地
高岡市関72

3 施設設置年度
昭和51年度

4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。

5 施設概要
延床面積：2,010.06㎡ 鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建
(主な設備等)
・柔道場 (公式試合2面)
・剣道場 (公式試合2面)
・会議室、シャワー室

6 指定管理者
公益財団法人高岡市体育協会

7 指定期間
5年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
30,751	36,731	38,205	35,508	37,544

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
1,640	1,941	2,014	1,659	1,925

(3) 利用料金収入見込み額 (利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
1,806	1,806	1,806	1,806	1,889

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・平成29年度は、剣道場床改修（1～2月）による利用休止等により、利用者数等が減少したが、平成30年度は利用者数・料金収入ともに平成27、28年度並みとなった。
- ・今後とも、関係団体等との連携などにより、利用者増に努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げに柔軟に対応した（早朝開館 48件、延長開館 随時実施）。
- ・1月と2月の土曜日に小学生を対象として、土曜っ子スポーツチャレンジ事業（畳の上での運動など）を実施した（4日間、のべ300名参加）。
- ・施設利用者へのアンケート調査や、利用者からの要望聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
- ・施設利用者の便宜を図るため、引き続き、飲料等の自動販売機を設置した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・指定管理者のホームページ、広報誌や施設掲示板等に、施設情報やスポーツ活動情報を発信し、施設の利用促進に努めた。
- ・体育の日、こどもの日に高岡市の体育施設と連携して、施設無料開放事業（利用者計81名）を行うとともに、毎週土曜日の児童・生徒を対象とした土曜日無料開放事業の対象について、平成29年度より個人から団体に拡大し（利用者1,563名）、施設の紹介・利用拡大に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	施設利用者を対象にアンケートを実施 (実施期間：30.9.15～30.12.16)
回答者数	回答者数：29人
結果	・施設管理 4.3点、利用条件 4.1点 職員対応 4.2点（各5点満点） ・意見・要望等 バリアフリーにして欲しい、柔道教室の日数を増やしてほしい
結果を踏まえた改善事項	バリアフリーについては県と指定管理者で協議を行い、整備が必要と判断されるものについては対応していく。

② その他利用者の声を反映させる取組み

常時、受付窓口において利用者の要望・苦情を聴く体制を整えるように努めている。

③ 主な苦情と対応

—

(5) 個人情報保護の取組み

高岡市体育協会個人情報保護規程により、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

・施設周辺の美化に努めるとともに、近隣住民との良好な関係に努めている。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は概ね適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・毎日3回、館内巡視を実施
- ・大会、団体使用後の館内巡視及び点検の実施
- ・自衛消防訓練の実施（年1回）

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無

回数(有の場合)

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・少子化等による競技人口の減少等により施設を取り巻く環境は厳しいが、土曜っ子スポーツチャレンジ事業の実施などの他の競技と組み合わせた施設利用や、新たな利用促進策の実施など、施設のPRと利用促進を図るための方策を検討していく必要がある。